

図2.熱中症による救急搬送人員 (平成20年~令和5年)

出典: 国土交通省「令和5年中の救急出動件数等(速報値)」

夏には、熱中症による搬送が増えています。地球温暖化の影響もあり、最近の救急搬送者数は平成までに比べて大きく増えています。

軽症による搬送者数の割合が全体の半分程度を占めています。

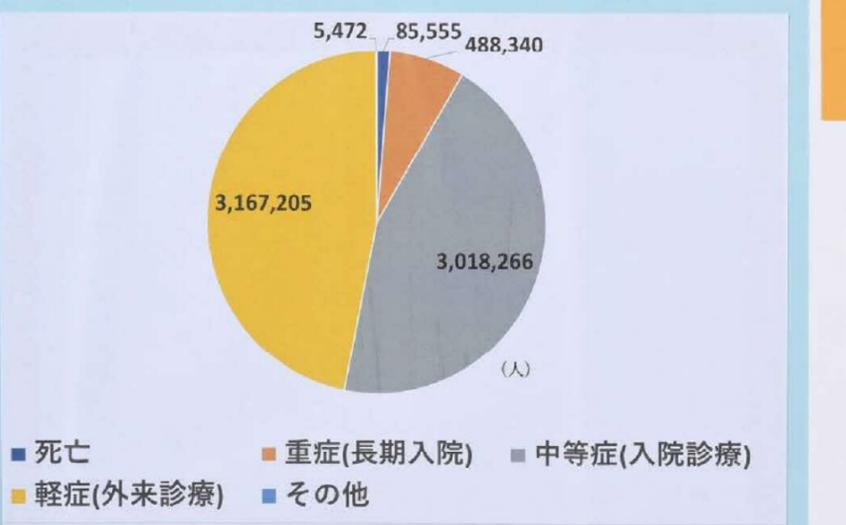


図4.傷病程度別の搬送人員 (令和6年)

出典: 国土交通省「令和6年中の救急出動件数等(速報値)」

救急車を救え!

この頃、町中で救急車のサイレンを聞くことが増えたと感じました。

下の図から実際救急車の出動件数は増加を続けていることが読み取れます。加えて、救急車で搬送される人数も年々増え続けています。一体どのような理由・原因があるのでしょうか。そして、それらの対処・解決は可能なのでしょうか



図①救急自動車による救急出動件数と搬送人員 (平成14年~令和6年)

出典: 国土交通省「令和5.6年中の救急出動件数等(速報値)」

〈救急車の出動件数の増加の原因〉

- 自分で解決できるものと長時間かけて解決していかねばならないものがある。
- 〈解決策〉
- ・傷が軽症の場合は、すぐに救急車を呼ばずにかかりつけを利用する。
 - ・地球温暖化を防ぐために、CO₂の排出を削減する。
 - ・高齢者の健康を増進する。
 - ・怪我や車事故を予防する。

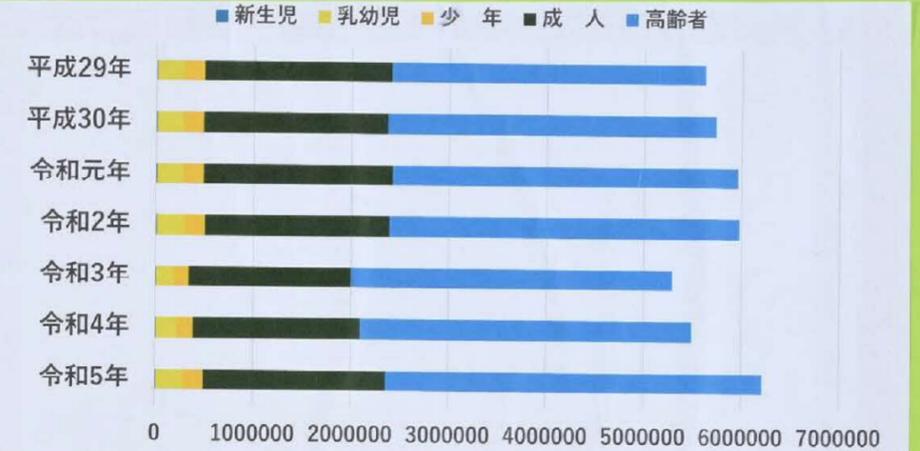


図3.年齢区分別の搬送人員 (平成29年~令和5年)

高齢化により、高齢者の搬送者数が増える化傾向にあります。

図3.の出典: 消防庁「令和29年資料2-5-3, 令和30年資料2-4-3, 令和元年資料2-5-3, 令和2年資料2-5-3, 令和3年資料2-5-7, 令和4年資料2-5-7, 令和5年資料2-5-7」

図5の出典: 総務省「令和5年中の救急出動件数等(速報値)」

救急車が病院へ搬送する時間がより長くなっていることがわかります。

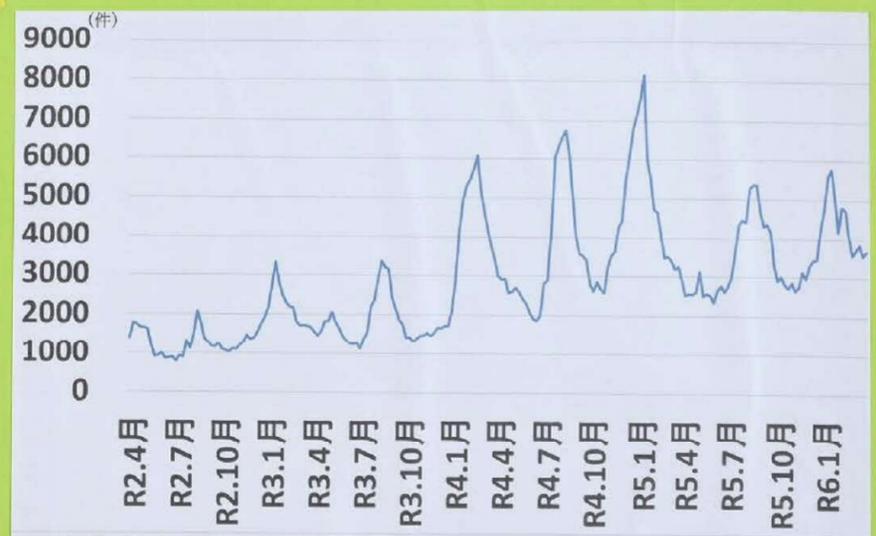


図5.救急搬送困難事案件数 (令和2年4月~令和6年1月)